

「大豆・米 穀類乾燥調製貯蔵施設・乾燥調製施設」

仕 様 書

令和 7 年 4 月 9 日

有限会社 瑞宝

(有) 瑞宝 「大豆・米 穀類乾燥調整貯蔵施設・乾燥調製施設」 建設工事（製造請負工事） 仕様書

1. 前提条件

別紙「機械設置図・フローチャート」に示すとおりに設定する。

2. 機械設備条件

項目	内容	留意事項
(A) 荷受設備	ア. 荷受方式 2 t ダンプ・1 t フレコン・グレンコンテナで搬入。 イ. 張込方式: 地下ピット方式 埃飛散防止にてホッパ上部に除塵フードを設ける事 ウ. 粗選機 風選を有し・大夾雑物及び小夾雑物を除去し12 t / h 以上の能力を有する事 エ. 荷受計量機 荷受量・荷受水分を確認し専用ディスプレイに転送しサンプルを取り出す事	ダンプ張込にて張込ピット容量を3 t 以上とする。 風選後の埃は粳殻庫まで搬送する事
(B) 粳乾燥調製設備	ア. 乾燥方式 屋外貯蔵ビン形式とする。ビン外壁は断熱方式を採用の事 送風機の配置は任意とし、運用に支障をきたさない送風能力とする イ. ビン基数 150 t ビン 3 基設置とする。 ウ. 粳タンク 粳摺調製の前段として、8 t タンク以上を設ける事 エ. 粳粗選機 6インチ粳摺機対応の事 オ. 粳摺機 既存粳摺機6インチ(RX-6000)を移設の事 カ. 粒選別機 6 インチ対応の粒選別機にて除塵装置を有する事 キ. 色彩選別機 フルカラーCCD・2 次選機構付 能力 0.6t~3.5t/h	地下ピット・ビン・大豆乾燥から搬入する事 必要な場合は粳殻中継ブロワーを設ける事
(C) 粳出荷計量設備	ア. 製品タンク 玄米6 t タンク仕様 イ. 小米タンク 0.6 t タンク仕様にてフレコン取出吊金具付属 ウ. 玄米色選 フルカラーCCD 能力 0.5t~2.0t/h エ. 玄米タンク 計量前段のタンクにて180kg タンク仕様	100 俵 10 俵 玄米出荷用 3 俵

	オ. 個袋計量機 カ. フレコン計量 キ. 個袋計量	玄米計量範囲 1.5kg～15.0kg 最小目盛 10g 仕様 6 t タンクよりフレコンにて排出 最大能力 15t/h 以上 30kg 個袋に対応した計量機を設ける	
(D) 粳自主検査設備	ア. テストドライヤ イ. 自主検査装置	30 口仕様 液晶表示盤 サーマルプリンタ付	
(E) 粳排塵設備	ア. 荷受関連： イ. ビン集塵 ウ. エアー関連	荷受フードファン・荷受集塵ファン設置の事 湿式集塵機を各機毎に設置の事 コンプレッサエアドライヤ付 7.5kw+エアータンク 0.28 m ³ 以上	3 基
(F) 精米設備	ア. 調製タンク イ. 精米ユニット ウ. 計量袋詰 エ. シール機	精米機投入前に 600kg タンクを設置 精米機（7 馬力）石抜・シフタ・異物選別機付の一体型とする 計量範囲 1.5kg～15.0kg 最小目盛 10g シール幅 420mm 以上	10 俵 建物内にて十分にメン テ作業ができる事
(G) 大豆荷受乾燥設備	ア. 汎用荷受ホッパ イ. 汎用粗選機 ウ. 張込コンベヤ エ. 汎用乾燥機 オ. 大豆搬出 カ. 戻し昇降機	ベルコンライン・フレコンからの荷受が可能で満量停止機能を有すること 回転ドラム式選別方式とする 各乾燥機に投入用 張込コンベヤを設置（無残留方式） 大豆乾燥機 8 t×4 基 6 t×2 基とする。 乾燥後の搬出は乾燥機からの直取出しとベルトコンベヤ取出しの方式をとる 粳調製機室側への搬出に使用	大豆選別専用網仕様
(H) 大豆調製計量設備	ア. 大豆選別機 イ. 製品タンク ウ. 色彩選別機 エ. 製品計量機 オ. 屑コンベヤ	大豆選別機 0.5t/h～1.0t/h×2 基とする 大豆・中豆・小豆用に 600kg タンク×3 基とする 大豆用 中大豆用に色彩選別機を各 1 基 大豆・中豆選別に能力 500kg/h 各 1 基とする 大豆・中豆・小豆・屑豆の 30kg 計量にて 4 基とする 大豆選別機 2 基からの屑米取出しに使用する	2 基 無残留型 6 基
(I) 大豆排塵設備	ア. 乾燥機集塵 イ. エア関連	乾燥機毎に専用トルネード方式乾式集塵機を付帯する エアドライヤ付エアコンプレッサ 5.5kw にエアータンク 0.15 m ³ を設置する	
(J) 電気設備	ア. 操 作 盤 イ. 電気工事	必要箇所に操作盤を設ける事 高圧受電設備・1 次側（機械設置側の操作盤迄）は建築側工事扱い 2 次側（操作盤以降）は機械工事扱いとする	

(K) その他設備	ア. 搬送設備 イ. その他	粳・玄米・大豆等を搬送するため無残留型でエアブロー方式を選択する また能力に就いても各機器に応じた機種を選択の事 正常に施設を運用する上で必要と思われる付帯品(シート、梯子、ダクト等)も工事範囲とします